

みんなの 町議会

第33号

平成25年1月15日

神石高原町



皿回しに挑戦 (いずみ保育所の子供たち)

■新体制でスタート〈神石高原町議会〉	2
■統合中学校建設へ〈補正予算〉	4
■委員会報告〈総務文教・産業建設〉	7
■神石踊娘隊きらきら星〈グループ紹介〉	18

まちづくり》

でスタート

第5回 臨時会

平成24年第5回臨時会が12月6日に開かれ、議長・副議長・福山地区消防組合議会議員・広島県後期高齢者医療広域連合議会議員および選挙管理委員会委員・同補充員の選挙などが行われました。改選に伴い、女性議員も含め新たに3名、元職1名を加えた14名での議会構成となり気分も新たにスタートしました。



◎議長

木野山 孝志

◎副議長

小川 清治

◎監査委員(議会選出)

寄定 秀幸

◎福山地区

消防組合議会議員

橋本 輝久

◎後期高齢者医療

広域連合議会議員

片山元八郎

◎議会運営委員会

委員長 松本 彰夫

副委員長 橋本 輝久

委員 村上 克朗

寄定 秀幸

久保田龍泉

《協働の 新体制



議長 新年のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、日頃から町政に対する暖かいご理解と絶大なるご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

新年を迎え神石高原町の新たな発展を期して身の引き締まる思いでございます。昨年は、国政において衆議院選挙で自民党が圧勝し、新たな政策展開が期待されております。神石高原町議会も新メンバーとなり、議会の持つ使命を再確認し、「住んでよかったまち、誰でもが住みたいまち」神石高原町を目指して、英知を結集し邁進する覚悟でございます。

何卒本年も相変らぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

神石高原町議会議長 木野山 孝志



○総務文教常任委員会

- 委員長 藤田 晃己
- 副委員長 橋本 輝久
- 委員 片山元八郎

○産業建設常任委員会

- 委員 寄定 秀幸
- 小川 清治
- 横山 素子
- 赤木 俊二

○議会広報広聴調査特別委員会

- 委員長 横尾 正文
- 副委員長 丸山 達夫
- 委員 村上 克朗
- 松本 彰夫
- 木野山孝志
- 久保田龍泉
- 妹尾幸太郎

- 委員長 橋本 輝久
- 副委員長 横尾 正文
- 委員 妹尾幸太郎
- 横山 素子
- 赤木 俊二

統合中学校建設に向けて 10億円

12月
定例会

12月補正予算

○一般会計 補正予算額 11億5,946万5千円
補正後予算額 116億2,937万9千円

単位：万円（四捨五入）

費目	補正予算額	補正後予算額	主な内容
議会費	0	8899	
総務費	6815	16億9014	普通財産管理経費6200 コミュニティ施設等管理経費400
民生費	467	17億8438	敬老会開催経費△81 障害者自立支援医療事業100
衛生費	535	10億2921	クリーンセンターじんせき施設経費390 し尿処理場施設経費130
農林水産費	1862	9億671	畜産経営安定化推進事業142 小規模農業基盤整備事業375 農業体質強化基盤整備促進事業2625 地籍調査事業△1404
商工費	3266	1億3891	中小企業育成事業362 自然公園等管理運営経費2884
土木費	△1億547	5億2385	社会資本整備総合交付金事業△1億434
消防費	0	4億713	
教育費	10億9163	18億4237	小学校建設事業6900 統合中学校建設事業10億1800
災害復旧費	0	2億922	
公債費	0	19億8262	
諸支出費	4386	9億8585	医療従事者育成奨学金基金積立経費4401
予備費	0	4000	
合計	11億5947	116億2938	

12月定例会は、12月13日から21日まで開かれました。平成24年度一般会計ほか、各特別会計補正予算（12月補正）、神石高原町医療従事者育成奨学金貸付条例の制定や、神石高原町神石高原こども医療費支給条例の一部改正など審議しました。

○特別会計

単位：万円（四捨五入）

会計名	補正予算額	補正後予算額	
特別会計	国民健康保険	3046	12億2321
	後期高齢者医療	0	4億2336
	介護保険	0	19億2787
	簡易水道事業	1423	3億6971
	飲料水施設事業	264	3675
	農業集落排水事業	634	2億5645
	分収育林事業	0	10
	総合開発事業	0	7741
特別会計計	5367	43億1486	
病院事業会計	0	1億8200	
合計	—	44億9686	

補正予算の財源

社会資本整備総合交付金 6671万円、地籍調査事業費負担金 1050万円、林業再構築プロジェクト事業費補助金 949万円などを減額補正し、教育費国庫負担金 2億3800万円、教育費国庫補助金 6372万円、基金繰入金 8907万円、町債 7億9870万円などを追加補正しました。

こんなことが決まりました

選任の同意

副町長 埴本 昌則（新任）
教育委員会委員

山本 剛久 田辺 孝章
監査委員

寄定 秀幸（議会選出委員）
岡崎 武志（代表監査委員）

選任（第5回臨時議会）

神石高原町選挙管理委員会委員および同補充員
選挙管理委員会委員

寺田 暢之 佐伯 嘉昭
正宗 武幸 小坂 芙美

選挙管理委員会補充員

山内 輝幸 田邊 浩一
上崎 哲男 井原 俊邦

工事請負契約の締結

工事名 小学校建設事業

工事場所 神石小学校給食調理棟改築工事
神石高原町福永7798番地2

請負者 株式会社 後藤組
代表取締役 志垣謙二

請負金額 7654万5千円
工期 平成24年12月19日～
平成25年3月29日

条例制定・改定

神石高原町医療従事者育成奨学金貸付条例の制定

- ・将来医療従事者として町内の医療機関等に勤務しようとするものに対して、その就学に必要な資金を貸し付けることにより将来的な地域医療の安定を図るため。

神石高原町医療従事者育成奨学金基金条例の制定

- ・奨学金貸付事業の管理運営に必要な経費の財源に当てるため。

神石高原町活性化情報センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

- ・指定管理者に委託することにより施設の有効利用をはかるため。

神石高原町立屋内体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例

- ・旧三和小学校の体育館を屋内体育施設として管理するため。

神石高原町神石高原こども医療費支給条例の一部を改正する条例

- ・神石高原こども医療費支給制度の継続と更なる充実を図るため。

神石高原町公の施設における指定管理者の指定について

- ・神石高原町こんにやく加工所の指定管理団体の変更のため。

統合中学校の校名が決定

神石高原町立 神石高原中学校

寄宿舎は 高原寮



議員提案よるに意見書

B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書

提出者 寄定 秀幸 賛成者 小川 清治

「薬害C型肝炎救済特別措置法」、「特定B型肝炎感染者への給付金等支給特措法」が設立し、裁判を通じて補償・救済される仕組みができた。しかしカルテや明確な証明が必要なため、裁判により救済されるのはほんの一握りに過ぎない。

注射器の使い回し、輸血、薬害によるB型肝炎・C型肝炎患者に対して、国が感染被害を償い、いつでも、どこでも安心して治療を続けられるために、肝炎治療と命を支える公的支援制度を確立することが求められている。そこで、次の事項について速やかに必要な措置を講じ、ことを強く要望する。

一、肝炎対策基本法に基づき患者救済に必要な法整備、予算化を進め、B型・C型肝炎患者が適正な救済が受けられることを旨とした救済策を実施すること。

二、肝炎治療薬、検査費、入院費への助成をはじめ、肝炎治療費への公的支援制度を確立するとともに、肝硬変、肝ガン患者への障害者手帳の交付基準を改善し、肝炎対策基本法が定めたB型肝炎・C型肝炎による肝硬変、肝ガン患者への特別な支援策を講じること。

三、治療体制・治療環境の整備、治療薬・治療法の開発、治療の迅速化などを図ること。

四、肝炎ウイルス未検査者、ウイルス陽性者の未治療者の実態を調査し、早期発見・早期治療につなげる施策を講じるとともに、B型C型肝炎による死亡者一時金、感染者・患者には健康管理手当・支援金を支給する法制度の確立によって、感染被害が報われ、持続的に治療が続けられる環境を整備すること。

(抜粋)

平成24年12月議会主な議案に対する議員の賛否一覧表 賛成○ 反対× 欠席 欠

Table with columns: 補正予算 (一般会計, 特別会計), 医療従事者育成奨学金貸付条例, 医療従事者育成奨学金基金条例, 副町長の選任同意, 監査委員の選任同意, B・C型肝炎患者の救済に関する意見書. Rows list council members and their positions regarding these proposals.

12月定例会中において、委員会付託された請願などを審査し報告しました。

総務文教常任委員会

○国道182号線来見小学校入口付近道路拡張について

採択

入口付近の幅員が狭く、スクールバス等の車両が離合困難である。また急な坂道で、冬季は凍結し危険であり改良すべきである。

○どんぐり幼稚園運営補助金について

採択

園児減少傾向の状況下で経営努力はしているが、非常に厳しい運営をしている。地域的に必要な施設であり、支援する必要がある。今後、町全体の保育所、幼稚園のあり方について、子供・子育て会議などの創設を議論すべきである。

○常設グラウンドゴルフ場の移設について

継続審査・調査

統合中学校建設期間中は、現シルトピアグラウンドの一部や、油木小グラウンドも使用可能であるが、他団体との使用口の調整が必要である。

今後、学校跡地利用など総合的に判断する必要がある。

○西油木ライスセンターの移設について

継続審査・調査

生徒及び近隣住民にどのような健康などの被害が想定されるのか、また技術的に粉じんを抑え込む防じん対策を研究すべきである。

産業建設常任委員会

○町営水道への編入について

採択

合併時以降において、各水道施設管理者に意向を打診し、各施設管理区分を決定しているところであるが、町水道事業として維持管理するに足りる諸条件が満たされていることが必要である。今後要望される施設についても条件整備に必要な経費等も勘案され、移管替えを要望する。

○国道182号線来見小学校入口付近道路拡張について

調査の結果、総務文教常任委員会の所管事務であることが判明したため、同委員会へ回付した。



現地調査状況（来見小入口）



審査状況

あなたの声を町政に

質問時間は、答弁を合せて一人二時間以内で一問一答方式



赤木 俊二 議員

問 ナマズの産業化は

答 どう加工販売に繋げるか検討中

Q ナマズを我が町の産業として商品化・販売の可能性を調査し、取り組む計画は。

A 町長

ナマズの場合は市場がない。どう加工販売ができるか考えている。ナマズの蒲焼や加工すり身でかまぼこの製造など総合的に検討中である。

Q 商品化には時間とノウハウが必要。町として道筋をつけ、油木高校に商品開発の依頼をし、マルシェなどで販売出来

ないか。

A 町長

商品化はアドバイスを受けながらやっている。売れるかどうかについては町ではノウハウを持っていない。商工会と検討しながらやっているが、商品として販路拡大が課題だ。

例えばかまぼこの生産をして市場で販売できる可能性があるならば第3セクターや若者が起業していく方法もある。まず商品化が可能かどうか専門家に聞いて間違いのない選択をしたい。

Q ナマズの産業化は動き始めた段階という認識でよいのか。

A 町長

採算ベースに乗せることが大切であるが、現在暗中模索の段階である。

Q 中央自動車道のトンネルで天井落下事故があった。長者ヶ原トンネルは構造的に大丈夫か。このトンネルの改良を緊急課題とし県と交渉を。

A 町長

財源不足により出来ていないのが現実。23年度ボーリング調査。24年度には用地の買収。26年度には着工の見通し。県の建設事務所から3案の提案がある。工事費は高額になるが、安全に配慮したものをお願いしている。



油木高校 ナマズ天井販売（フードフェスタにて）



長者ヶ原トンネル

Q トンネルから斎場区間の拡張工事の見とおしは。

A 建設課長

区間的にはトンネルから150m手前まで改良を含めて行う。最終的には27年度になる見通し。



横山 素子 議員

問 安心な子育て環境の拡充は

答 多様なニーズに対応

Q 働きながら安心して子育てできる環境づくりの点からも土曜日・日曜日の保育の充実も必要になってくるのでは。

A 町長
時間外保育は地域性や保護者の実態など考慮し実施している。今後、指定管理による運営も含め、多様なニーズに対応できる体制を整えていきたい。

Q 現在神石地区のいずみ保育所だけが土曜日の一日保育が行われているが、町内全保育所で取り組むべきでは。

A 福祉課長
保護者のニーズがあれば環境整備をしていきたい。

Q 子育て世代の保育料の負担はかなり大きいが無料化についての取り組みは。

A 町長
平成24年度保育料は総額で3500万円程度見込んでいます。今後は指定管理による経費節減などを考慮し「地域全体で子育てをしていく」との合意形成を図り無料化へ向けて条件整備を進めたい。

Q 統合中学校の進捗状況は。

A 教育長
全体的におおむね計画通りの進捗状況だ。設計については基本設計を終え詳細設計を行っている。用地確保も順調に進み補助事業の手続きも計画通りである。

Q 地元関係者への説明状況は。

A 教育課長
建設地である油木地区の各種団体に統合説明や協議を行っている。

Q 地域からどのような意見、要望が出たのか。

A 町長
門田原地区での説明時に、ライスセンターから出る粉じんの問題が出た。教育委員会で対処する。

Q 粉じんの調査の方法は。またその結果は。

A 教育長
集じん機による調査は行っていないが、近隣の住民への聞き取り調査を行いその結果、全く飛んでいないとはいえない。

Q もっと詳しい調査研究が必要だ。生徒たちが快適な環境で授業を受けるためにはライスセンターの移転も視野に考えてみるべきでは。

A 町長
集じん機による完全な粉じん除去ができるのか、あるいは移転をしたほうがいいのか、双方をよく検討して、判断したい。



いずみ保育所発表会

問 医療費削減を
(ジェネリック医薬品を推進)

答 医師会との調整を行い促進したい



横尾 正文 議員

Q ジェネリック医薬品(以下後発品)の推進によって医療費の削減は出来ないか。また病院の重複受診はないのか。

A 町長
本町が運営する国民健康保険では、後発品推進の広報活動は行っていない。今後は近隣の市町の動向を踏まえ、医師会との調整を行い、利用促進を図りたい。
重複受診は調査の結果ないということである。



神石高原町立病院の透析室

Q ①後発品の町内での普及率は。
②普及率を50%に引き上げた場合の医療費の削減額は。
③差額方式(先発薬から後発品に替えたら医療費の負担がこれだけ減ると、金額を明記して国民健康保険の被保険者に知らせる内容)は導入出来ないか。

A 福祉課長
①普及率は30%
②普及率が50%になると概算で月あたり推定50万円の削減。
③差額通知に関しては、医師会との調整を行って推進したい。

Q レセプトデータベース(診療報酬明細書)の活用状況は。

A 町長
保健指導対象者の抽出時に利用し、正確な保健指導によって医療費の削減を行っている。

Q 生活習慣病による糖尿病性腎症からの透析患者が増加しているが防止策は。

A 町長
また町の健診状況と健診を利用しているの対策は。

A 町長
特定検診の結果により特定保健指導を行い、バランスのよい食事を町民に心掛けるよう啓発に努めている。

A 保健課長
特定検診の受診率は、48・5%で県トップである。さらに今年度から保健課に栄養士を配置して、食生活の改善と食育を町全体で取り組みたい。

Q 近隣であれば指定管理で運営されている東城保育所が、先進的に成功している例がある。公設民営にするのであれば、子どもに負担がかからないよう細心の注意を。

A 副町長
原則として、町の方針が反映出来る指定管理者を選定すること、保育指針についても、管理者が指導できることが大切である。

質を落とさずにサービスの向上が大切であり、民間による新たなサービスが図られるのであれば、出来る範囲で取り組んでいきたい。

その他の質問
支所のあり方



橋本 輝久 議員

問 平成25年度 予算編成に取り組む姿勢は

答 持続可能な財政運営に努力

Q 町の財政状況は、健全化の傾向ではあるが、地方交付税などの減額が予想される。

A 平成25年度予算編成では、経常経費の抑制、無駄の排除、節約などに重点をおくのか。

町長 12月3日に予算編成会議を実施している。基本的な考えとして、持続可能な財政運営に努力していきたい。

また、歳入に見合った歳出を基本として、一般

会計予算の目標総額90億円に設定し、経常経費の10%抑制を目指す。

Q 前年対比マイナス約7%だが、事業全体を抑え込み一律に削減するのか。

町長 一律に削減しようとは思わない。事業によっては廃止するもの、継続するもの、新たに少子化対策などに取り組む事業もある。精査をし、予算編成に取り組む。

Q 住民サービスの低下など心配する。住民に負担を求めることはないのか。

町長 統合中学校建設があるが、今の段階では住民に負担を求めることはない。

Q 予算の中で人件費がかなりウエイトを占めるが削減策は。

町長 自主財源が約10億円で、人件費は15億円である。オーバーしているが財源内に抑えなくてはならない。財源内におさえる目標としてとらえている。

また、歳入に見合った歳出を基本として、一般

Q 住民生活に直結する事業経費については、現状維持を。

町長 自公政権誕生となり、10兆円に及ぶ大型補正をし、景気をあげる政策を実行しようとしている。

老朽化した道路や橋の修繕など強靱化社会を目指しデフレ脱却が、最重点課題である。あらゆる情報網を使って予算を取り込む努力し対応できる万全の体制をとる。

Q 第2のトマト団地構想の現状は。

町長 現段階では規模など詳細については決まっていない。構想としては、豊松のトマト団地の規模でふたつ以上整備したいと考えている。土地の条件が合えばもっと大きくなる場合もある。

平成25年度予算に、関連する予算などを計上する予定。



豊松トマト団地

Q ①寄宿舎について、希望者対象なのか。

②生活指導体制は。

③通学生徒の対応は。

教育長 ①定員は男女各20名で希望入寮としている。

②指導体制については、舎監長1名、舎監1名、管理人1名寄宿舎指導員1名、学習指導員数名を考えている。

③通学生徒の対応は、原則6キロメートル以上の生徒にたいして、スクールバスの運行を考えている。

問 投票率低下の原因と対策は

答 期日前投票のPR徹底



久保田龍泉 議員

Q 先般の町会議員選挙は、関心が低かったのか低調であった。合併後最低の投票率であったが、その原因と今後の対策は。

A 町長 欠員かどうかの状況下で選挙ムードがあがらなかったこと、投票区の再編により高齢者の投票率が下がったと思われる。前回より7ポイント減。対策として、期日前のPRや送迎運行の徹底をする。

Q 議員定数について選挙期間中、議員定数はこれでいいのかという声を多く聞いた。行政機関と議決機関の関係から行政のトップに伺うのは適当でないが、答弁できる範囲でいいので参考意見として聞きたい。

A 町長 今回の状況を踏まえ議員のみなさんが賢明なる考えをしてもらうのがベターだ。

Q 統合中学校の平成26年4月開校に向けて準備などで多忙になるが、統合後の跡地利用はこれまでの例では、どちらかと言うと後回しになることが多い。

A 神石中学校の場合、神石地区の中心地であり荒れ地になると目立ち環境によくない。統合後に、直ちに具体的な跡地利用の検討委員会の立ち上げの予定は。

A 教育長 統合地区への説明会は行った。統合中学校建設委員会への諮問事項であり意見具申をもらうことになっている。



神石中学校

Q 建設委員会ですべて決めるのか、住民の意見はどうやって吸い上げるのか。

A 教育長 建設委員会ですべて決めるものではない。どのようにして決めるのか方法論も含め対象地域にむき考えを聞く。



豊松中学校

Q 老人介護施設を誘致しては。

A 町長 建設委員会へ地元議員として提言してほしい。



寄定 秀幸 議員

問 少子高齢社会における自治体経営の基本方針は

答 自立した住民自治と財政健全化が基本だ

Q 少子高齢、人口減少社会における地方自治体は、厳しい財政運営を強いられる。

A 町長 牧野町政3期目の自治体経営の基本方針と基本構想は、

行政と住民との協働のまちづくりを推進し、自立した住民自治を基本に持続可能な町を目指す。また、財政規律を堅持した財政の健全化が必要である。

Q 再生可能エネルギーへの取り組みは。

A 町長 木質バイオマスの利活用は、庄原市・三次市などの広域的な取り組みを検討している。

Q 今後も引き続き子育て支援に取り組むべきでは。

A 町長 少子化対策は保育に関するだけでなく、経済的支援・医療支援、住居・労働に関する支援など、多岐にわたり重要である。今後も継続して取り組んでいく。

Q 子育て3法に基づき「こども子育て会議」を設置すべきでは。

A 町長 国の制度に則して設置する。

福祉課を中心に関係部局連携のもと、執行準備事務を実施する。

Q 保育所の公設民営化への取り組みは。

A 町長 平成25年度に指定管

理を議決し、平成26年度から一部の保育所で実施できるように合意形成を図る。

Q 年少扶養控除廃止に伴う、保護者の経済的負担軽減を目的とした「幼稚園就園奨励補助」への対応は。

A 教育長 早急に検討し、制度活用に取り組む。

Q 各種ワクチン接種の公費助成の継続を。

A 町長 継続を考えている。

Q 不育症治療費の公費助成制度創設をすべきでは。

A 町長 前向きに検討・研究する。

Q 通学上の安全や教育環境整備など、PTAからの要望に迅速に対応すべきでは。

A 教育長 各課と連携し、優先順位を付けて迅速に対応したい。

Q 来見小学校校舎の老朽化が著しい。児童の安全を第一に、耐震調査・安全対策を早急に実施すべきだ。

A 教育長 建築後28年経過しており、総合的な検討も必要と考えている。点検を実施しながら、コンクリート剥離や雨漏り、倒木など緊急性・危険性があるものは早急な対応をしたい。



建築後28年の来見小学校

問 町立病院のこれからは

答 来年度の早い時期に方針を決定



松本 彰夫 議員

Q 町立病院は、指定管理者制度により運営されているがその成果と課題は。

A 町長 成果は県立病院と同じ機能を維持できた。そして経費の節減や医療福祉相談室の設置により、きめ細かな対応ができた事などである。

課題は、指定管理期間の限定により、安定雇用とならず、職員の不安感が増大した事などである。

Q 形は県病院と同じ機能を維持しているが、内容は低下している面もある。例えば透析患者の

入院はできなくなった。設置者は町長、運営は理事長、病院は院長が責任者となる。責任の持ち合いや、町長の方針が反映されにくい面はないのか。

A 町長 その事が課題でもあるが、定期的に協議して、疎通を図っている。

Q 医師不足は、全国的な課題であるが、町立病院として医師の募集を行っているのか。

A 町長 町が募集し、採用すれば、指定管理者が変わっても、医師はそのまま残るし、身分も安定する。

Q 外科医の採用を望む声が多いが、町が進めている若者定住を進めるためにも、小児科の診察を行うべきではないか。

A 町長 小児科に特化した病院も考えてもよいと思うので、検討する。



神石高原町立病院

Q 看護師などの不足も深刻である。現在働いている人に対して、「定着手当」。有資格に対して「資格手当」などを創設して、意欲を持って働けるよう取り組むべきではないか。

A 副町長 指定管理者とも協議し、検討する。

Q 患者の待ち時間の短縮、情報の共有化のためにも、電子カルテを導入したらどうか。

A 副町長 費用対効果も考えながら、検討する。

Q 今後の運営は今までどおり指定管理者制度で行うのか。町の直営で運営する事も検討すべきではないか。

A 町長 全国的に指定管理者制度での運営は少ない。ほとんどの自治体が直営で行っている。直営も視野に入れ検討する。

Q 今後の方針についていつまでに、どのような方法で検討するのか。

A 町長 今年度から検討を始め、新年度の前半には結論をだす。場合によっては、委員会を立ち上げて検討する。

Q 施設もかなり老朽化している。病院の運営方針に合わせ、建て替えも視野に入れながら検討すべきでは。

A 町長 建て替え・改修については、来年度早い時期に町立病院の運営方針、費用対効果と合わせて検討する。



藤田 晃己 議員

問 産直市場の経営統合は。

答 一体化して町内の人を社長に

Q 産直市場の経営統合が議論されているがその後の状況は。

A 町長 経営統合するのではなく3つの産直市場を一体化して、町内の人を社長にしたい。社長の人件費は町から補助していかないと成り立たないと思う。これから検討・研究したい。

まると市場は、駐車場の変更などを考えると経費の節減になると思う。182ステーションは、農産物売るだけでなく、消費者に良く売れる物を置く必要があると思う。

Q 百彩館は、食堂を廃止して客の休憩室・談話室などを考えてみたい。

A 町長 定住促進、田舎暮らし対策の今後の取り組みは。

Q 単年度で出来るものではない。これから我が町の存亡をかけ、継続して取り組む問題であり、井関の定住団地の販売、空家バンク、ブライダルセンター定住補助金などを引き続き取り組む。少子化対策として結婚祝い、誕生祝い、就学祝いなど、単町費としては充分な取り組みをしている。

井関の定住団地では販売済区域に112人は増える。周辺地も販売について検討に値する。

Q 町立病院の機能充実の自身は。

A 町長 国の方では在宅介護、在宅医療にシフトして来ている。町立病院の中で地域の包括ケアを積極的に進める。保健・医療・福祉の一体化サービスも行う。

Q 指定管理に対して外科医の要望は。

A 町長 指定管理に指定した時点から要望しているが、医師不足を理由になかなか答えてもらえない。遺憾に思う。

Q 老朽化した施設で耐震強度がないので建て替えは。

A 町長 町にとって大切な施設であるというインパクトを与えるためには改築をするのも選択肢の一つである。

Q 基幹産業である農林業・観光事業の振興と六次産業化の具体的な推進策は。

A 町長 農業・観光産業と六次産業化を関連をもってやってゆきたい。第2・第3のトマト団地、ブドウの栽培、和牛の振興を進める。

観光事業としては、仙養ヶ原、スコラ高原を中心とした森林セラピー基地の申請をしている。

観光と人間の健康を一体的にやれば、交流人口

が増え定住にもつながる。六次産業については今着々と具体的な計画を進めている。



さんわ182ステーション

Q 荒廃地防止対策は

A 町長 荒廃地は基盤が悪い所が多いので和牛の放牧などを中心に取り組みたい。

問 町立病院の存続を強く求める

答 町づくりの大きな柱だ



片山元八郎 議員

Q 平成21年4月、公設民営化により神石高原町立病院が発足。平成25年3月末には、陽正会との契約も4年目が経過。残すところ1年余り。民営化4年間の評価される点と課題を明らかにし、公設民営化2期目以降の充実・存続に備えるべきと考える。

A 町長 私は、県立時代に比べ職員などの対応が良くなったと思うがどうか。

A 町長 良くなっていると思う。



町立病院を守る会による清掃活動

Q 入院患者の期間が上限の3か月を過ぎると県立時代は退院を厳しく迫られた。町立になり柔軟に対応されていると思うがどうか。

A 町長 自宅に帰ることが困難な社会的入院患者の受け入れも対応しており、評価できる。

Q 最大の課題は「医師確保」。県立時代は、整形外科医・外科医の常勤が少なかった。老人が多いわが町は、常勤の整形外科医が必須。また、透析患者への対応もあり、常勤の外科医も必要と思うが、どうか。

A 町長 整形外科医のニーズは大変高いと認識しており医師確保について、各方面へ引き続き働きかけていく。

Q 陽正会は「医師確保」に向け、努力はされているようだが、成果が見えない。もっと汗をかきべきでは。

A 町長 そのとおりだ。指定管理者として極めて残念だ。

Q 病院事業会計は、とてもわかりにくい。赤字か黒字かをトータルで示せ。

A 町長 平成21年度：政策医療交付金7583万円を投入し、1719万円の黒字。平成22年度：6659万円を投入し、1613万円の黒字。平成23年度：9064万を投入し、940万円の黒字。

Q 町民に対し「おらが町の病院」を守る行動の啓発をどうしているか。

A 町長 町立病院を身近に感じてもらえるよう、病院職員による「出前講座」や地域イベントにおける「健康コーナー」などを行っている。

Q 公設民営化2期目以降をどう考えているか。

A 町長 存続は、まちづくりの大きな柱。懸案事項の課題を整理し、今年度から次年度前期に向けて、鋭意検討しながら、必要に応じ委員会も設置したい。

追跡ありやあどうなった?

「星の里いせき」46区画契約

新築住宅が次々誕生

神石高原町井関に町が整備した住宅団地「星の里いせき」は、町有地4haと民有地3haを合わせて7haの高台に平成22年度に造成した定住型住宅団地です。

国道から進入する道路や、現地案内の建物を含めて総事業費は約6億5千万円でした。

販売は、宅地建物取引の資格を持つ町内業者に委託して販売を行っており、平成24年12月現在で76区画の内46区画が契約、予約をいただいております。

契約をいただいた方の半分以上は、町外からの転入者であり、Uターン、イターン者を含めて現在20世帯の方が入居されています。

井関・大矢自治振興会では、新しく「星の里」班をつくって地域の人たちと交流できるような仕組みづくりに取り組んでおられます。

この定住団地は、おいしい産物や、きれいな星、素晴らしい自然と合わせて、CATVも完備しており、福山市や、府中市への通勤も比較的便利であることが好評の要因だと思います。

また、販売価格も80万円台からと

格安の上に、面積も300坪以上ある区画も多くあり、ちょっとした家庭菜園もすることが出来ます。

合わせて、町の定住支援策として、町有林無償提供、新築住宅補助金、固定資産税5年間半額助成、子育て世代は土地代1割引など多くの特典も魅力的です。

現在も、続々と新しい住居が建設中で、どんどん人口が増えていくということは大変うれしいことです。



「星の里いせき」

クイズの
解答とともに
寄せられた

みんなの声

長く生きて議会だよりなんてむずかしい事はわからんと思っていただけ、よく見れば議員さんがそれぞれの役に努力しておられる事がわかりました。神石高原町がより良くなりますよう、お願い致します。(88歳・女性)

神石高原町の少子高齢化がどんどん進んで来ています。私たち高齢者が安心して生活できる神石高原町づくりに議員の皆さんの活躍を期待しています。よろしくお願い致します。(79歳・男性)

神石高原町民になって3年目、いつも楽しく「みんなの町議会」広報誌、拝見しています。町の事、議会の事、人々の暮らしなど、とてもよくわかります。これほどの広報ができることによって他にはないのでは?...頑張ってください。(40歳・女性)

今、毎週神石に帰り百姓に精を出していますが、協働のまちづくりが急務となっています。高齢化で一人で生活されている方、高齢の方の腰を曲げての田畑の姿に胸を打たれます。若者や子ども達の移住ができる魅力あるまちづくりを今後も頑張ってください。(61歳・男性)

暑かった夏が終わり、ゆきあいの空に実の便りが聞かれます。まったりとした田舎のすばらしさが目や口に感じられます。神石再発見の季節であります。(56歳・女性)

議員さんの個人新聞を興味を持って読んでいます。(77歳・女性)

広報で介護疲れを癒されしどぐりの中、あの人がいて(87歳・女性)

元気なグループ紹介

神石踊娘隊きらきら星

2012.5.5
フラワーフェスティバルにて



よさこいにかける夢

希望・勇気・絆

神石踊娘隊きらきら星は、結成以来11年、小学1年生から60代まで現在80名のメンバーで活動しています。

年間約20回イベントに出演しています。何がいつても夢は「よさこいの原点・高知で踊ること」です。

子どもから大人まで心一つにして、常に高い夢を掲げて「チームとしての踊りの力」を表現すること、そして私たちの踊りを通して勇気や元気を感じてもらうことを目指しています。

皆さんも、私たちと一緒に「夢」を追ってみませんか。

隊長 村上 俊二

第16回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉を入れてください。

- ① 統合中学校の寄宿舎は〇〇寮
 - ② 〇〇のまちづくり、新体制でスタート
 - ③ 医療費削減〇〇〇〇〇〇〇〇医療品を推進
 - ④ よさこいにかける夢・希望・勇気・〇
 - ⑤ 神石高原町〇〇從事者育成奨学金貸付条例
- 《ヒント》議会広報を良く読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。

議会への要望・ご意見なども書いてください。「まちの声」で、できるだけ紹介いたします。

正解者多数の場合は抽選で5名の方に1000円分のやまなみ商品券をお贈りいたします。

応募はお一人・一通に限定させていただきます。

《あて先》〒720-1522 神石高原町小島 一〇一五神石高原町議会事務局

《締切》2月20日(水) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

《第15回議会クイズ正解》

- ① みんな ② 黒学 ③ 基本

④ 寄附 ⑤ どんぐり
多数の御応募ありがとうございました。正解者多数により、抽選の結果、次の方が当選され1000円分のやまなみ商品券を送りました。

《第15回議会クイズ当選者》

- 油木地区 岩畦フミコさん
- 油木地区 大澤 真也さん
- 神石地区 竹安 恵子さん
- 神石地区 福名 澄江さん
- 神石地区 藤田 文高さん

編集後記

師走の衆議院議員総選挙が終わり、予想以上のより戻しによって自民党の大勝利に終わりました。

日本は難題が山積しており、2度目の登板となる安倍首相にとって日本丸のたいへんな舵取りが予想されますが、腰を据えて経済の再生などに取組んでいただきたいものです。

またわが町も町長及び町議会議員選挙が終わり、12月5日より新体制に変わりました。

議会の布陣は、女性1名を含めて4名の議員が加わり、神石高原町の将来のために頑張っていく所存でありますので、よろしく願います。
(横)

- 議会広報広聴調査特別委員会
- 委員長 橋 本 輝 久
 - 副委員長 横 尾 正 文
 - 委員 妹 尾 幸 太 郎
 - 委員 横 山 素 子
 - 委員 赤 木 俊 二

住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340
FAX 0847-85-4201